

上十三・十和田湖広域定住自立圏

明治11年、藩政時代の北郡が南北に分かれてきた上北郡。昭和30年代に十和田と三沢が市となってからは、両市を中心に上十三地域として人々の生活と密接にかかわってきました。また、十和田湖に接する秋田県小坂町、八戸圏域定住自立圏と重複する形でおいらせ町が加わり「上十三・十和田湖広域定住自立圏」が形成されました。

十和田市と三沢市の2市を中心市とし、県境を越え、他圏域と一部重複する「複眼・県境・圏域重複型」は、全国で初の事例となります。



野辺地町 Noheji Town

- ① 14,706 人
- ② 81.61 km²
- ③ 葉付きこかぶ、長芋、けつめい茶、ホタテ、とげくりがになど

横浜町 Yokohama Town

- ① 5,070 人
- ② 126.55 km²
- ③ なたね、長芋、馬鈴薯、毛まめ、ホタテ貝、横浜なまこなど

六ヶ所村 Rokkasho Village

- ① 11,167 人
- ② 253.01 km²
- ③ 本格長芋焼酎「六趣」、長芋、ごま六、うば玉、いか沖漬けなど

三沢市 Misawa City

- ① 42,180 人
- ② 120.09 km²
- ③ ほっき貝、いか、さけ、ひらめ、ごぼう、長芋、にんにくなど

おいらせ町 Oirase Town

- ① 25,089 人
- ② 71.88 km²
- ③ 清酒桃川、長芋、ほっき貝、銀の鴨、エゴマ油、アピオスなど

六戸町 Rokunohe Town

- ① 10,735 人
- ② 84.06 km²
- ③ 大玉にんにく、にんじん、長芋、シャモロック、野菜焼酎など

十和田市 Towada City

- ① 65,326 人
- ② 725.67 km²
- ③ にんにく、長芋、ごぼう、長ネギ、しいたけ、馬肉料理など

東北町 Tohoku Town

- ① 19,451 人
- ② 326.71 km²
- ③ 長芋、しじみ、シラウオ、ワカサギの佃煮、はちみつなど

七戸町 Shichinohe Town

- ① 17,442 人
- ② 337.23 km²
- ③ マイルド229、熟成にんにく、長芋、カシス、地酒「駒泉」など

秋田県小坂町 Kosaka Town

- ① 5,942 人
- ② 201.95 km²
- ③ ヒメマス、小坂ワイン「樹海」、アカシアクラフト、竹の子など

面積 約 2,328 km²
人口 約 21 万 7 千人

青森県の面積の約 24%、人口の約 16% を占める広域な圏域。三沢空港や新幹線七戸十和田駅などの高速交通拠点、豊かな自然や特産品に恵まれ、特色ある観光資源にあふれています。

市町村名

- 市町村章
- ① 人口 (H24.10.1 現在)
- ② 面積
- ③ 特産物など

上十三・十和田湖広域 定住自立圏 形成協定合同調印式



▲調印した協定書を掲げる、上十三・十和田湖広域定住自立圏の市町村長 (写真左から) おいらせ町、東北町、六戸町、野辺地町、十和田市、三沢市、七戸町、横浜町、六ヶ所村、秋田県小坂町

十和田市を含む上十三地区の住民は、普段から通勤・通学や医療、買い物、イベント施設の利用など市町村を越えて往来が盛んです。また、十和田市と秋田県小坂町は十和田湖を介して観光資源の共有、医療機関の利用など密接なかわりがあります。観光資源あふれるこの地域の特色を生かし、中心市と同じ政策に取り組み圏域町村が連携し、住みやすく、魅力ある圏域の創出を目指す、この新しい連携のカタチが「上十三・十和田湖広域定住自立圏」です。協定(内容は7ページ)を締結したことで、圏域は目指すべき将来に向けての取り組みのスタートラインに立ちました。

Step 2 2市7町1村 定住自立圏 形成協定を締結

県境を越えて締結 東北全体の観光振興につながるものと期待



▲共同中心市・2市長と固く握手を交わした

小坂町は廃藩置県前に南部藩に属しており、地域的なつながりが浅からぬものと感じています。

日本国内はもとより、世界的に風光明媚な景勝地である国立公園十和田湖を介して十和田市とは広域観光を目指し、ともに各種施策に取り組んでいます。

この定住自立圏構想は、秋田県内でも注目されており、県境

細越 満 Hosogoe mitsuru 秋田県小坂町長

を越えた定住自立圏構想策定の波及効果は秋田県の観光振興にとどまらず、震災で大きなダメージを受けた東北全体の観光復興につながるものと、期待されています。

今後、これを機会に関係市町村の皆さまとさらに連携を深め、ご助言などをいただきながら各種施策に取り組んでいきたいと考えます。